

認知症になっても **笑顔** で暮らせるまちを目指して

認知症は、65歳以上の10人に1人が発症するといわれる身近な病気です。認知症の人が地域で安心して暮らすためには、誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族介護者を支える手立てを知っていることが大切です。

市では、認知症の人や介護しているご家族、認知症が気になる方、これから介護がはじまる方々を支援するため、さまざまな取組を行っています。

～認知症の人を地域で見守る～ ひとり外出見守り・徘徊SOSネットワーク

市や警察に、徘徊行方不明の恐れのある方の外出コースや緊急連絡先などを事前登録しておき、日ごろから声かけに努めるなど、地域全体で見守ります。

また、徘徊行方不明者の捜索に協力いただく協力機関も登録しておき、徘徊行方不明時に備えます。



「道に迷っているかもしれない」とは気づいても、自分から声をかけるのは、なかなか難しいもの。声かけのポイントを知り、多くの人が実践できるよう、市では「徘徊高齢者役」の方に気づき、声をかける「声かけ体験ウォーキング」を実施しています。



認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、対応方法を学んだ「認知症サポーター（認知症の人と家族を支援する応援者）」を養成する講座です。

現在までに、2,338人のサポーターが誕生しています。

回想法 ～昔話で心を元気に～

人生の歴史や思い出を共感的な態度で聞くことで、前向きな気持ちに導く心理社会的介入方法です。老年期に人生を振り返り、自己の人生を再評価することで、自尊心を向上させ、認知症予防や生きがいづくりに効果があります。



昔懐かしい道具や本などを用いて、思い出を語りあいます。

加東市民病院に 認知症疾患医療センター開設

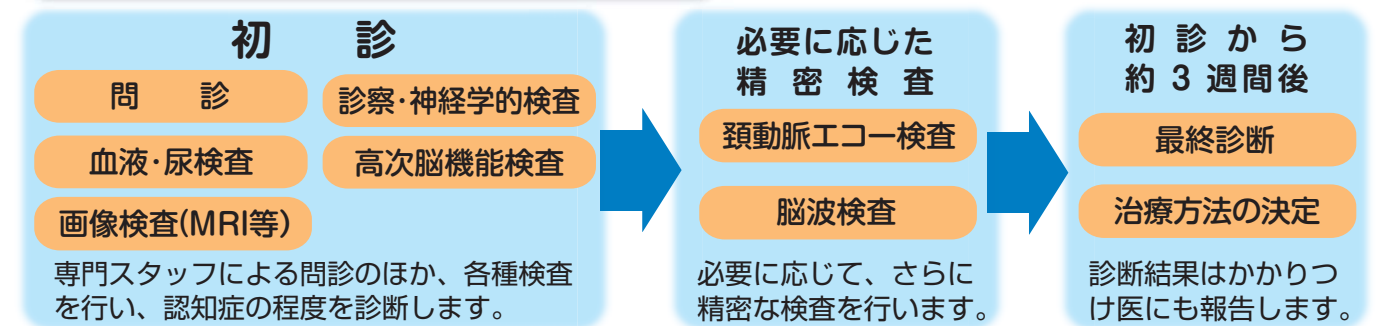
加東市民病院が、県から北播磨地域における「兵庫県認知症疾患医療センター」としての指定を受けました。

センターでは、認知症疾患の専門医療相談のほか、鑑別診断、地域の医療機関等の紹介、問題行動への対応についての相談、地域保健医療・介護関係者への研修などを行います。

業務には、認知症疾患の専門医、精神保健福祉士、保健師、看護師、臨床心理士などが携わります。



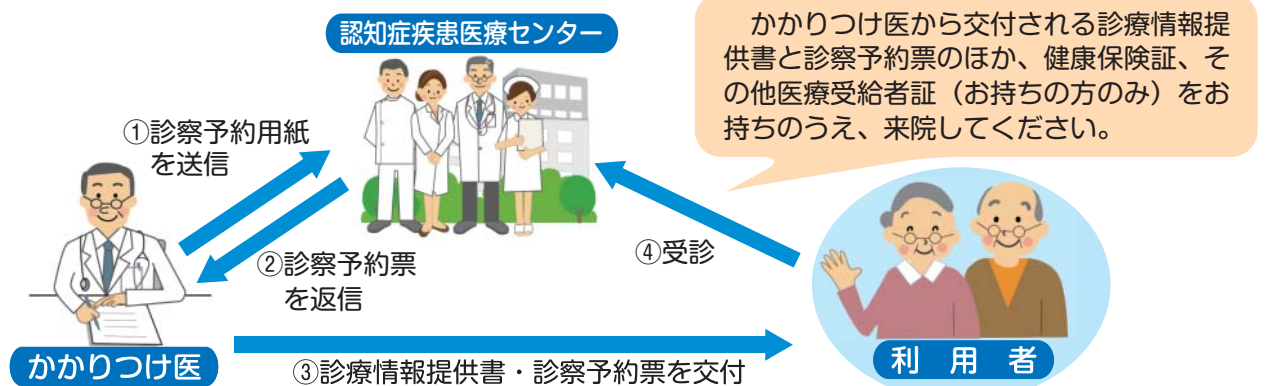
センターではどんな診察が受けられるの？



センターの受診方法は？

■初診日 火・水曜日

外来診察は完全予約制です。予約には、かかりつけ医療機関からの紹介が必要です。かかりつけ医療機関が無い場合は、センターにご相談ください。



専門医療相談をご利用ください

認知症疾患医療センターでは、認知症に関する電話相談や面談（要予約）をお受けしています。

「最近、物忘れが多くて…」 「認知症かどうか不安」 など、お悩みの方は、専門スタッフにお気軽にご相談ください。（相談内容により、当院での診察、または専門医療機関を紹介します）

受付日時 月～金曜日（祝日は除く）

9:00～11:30、13:30～16:00

問い合わせ 認知症疾患医療センター ☎42-5676



面談のほか、物忘れチェックシステムなどを用いて検査します。

地域や団体で

認知症支援に取り組んでみませんか？

認知症の人が、住みなれた地域でいきいきと暮らすためには、市民のみなさまのご協力が欠かせません。

市では、各地区、学校、事業所などを対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しているほか、「声かけ体験ウォーキング」や「回想法」に取り組まれる地区に、スタッフを派遣し、指導・協力をを行っています。くわしくは、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 地域包括支援センター（ラポートやしる） ☎43-0431